

トピック(テーマ)	長野県の誕生		
ねらい	信濃国から伊那県、中野県、長野県と筑摩県時代を経て現在の長野県の県域が安定するまでの過程を知る。		
キーワード	信濃国 伊那県 中野県 松代県 上田県 松本県 飯田県 筑摩県 分権論 移庁論 県庁火災 永山盛輝 檜崎寛直		
概要を知るためのツール	1	書名	長野県政史
		著者名	長野県
		出版社	長野県
		出版年	1971
		内容紹介	第1篇長野県政前史では「開国と信州の新しい動き」と「維新変革と信州」を、第2編長野県政の発足では「県政の開始と自由民権運動」「殖産興業政策と資本主義の発展」「県政の発足と県民生活」「新しい教育制度と文化」を、第3篇長野県政の確立では「県政の確立と地方政党の活動」までの項で、伊那県の誕生から現在の長野県域の確定と県制安定期までを述べている。
	2	書名	信州 南北戦争
		著者名	中村勝実／著
		出版社	樺出版
		出版年	1991
		内容紹介	明治4年、筑摩県と長野県の誕生から昭和23年までの信州分県・移庁問題を中心に扱っている。東北信と中南信、長野と松本を信州の南北戦争ととらえ県知事や議会、民衆の動きを描いている。明治期の早い段階では松代や上田も県庁として考えられた経過も述べている。昭和23年以降の動きも「それからの南北戦争」として長野市と松本市の争いを中心に述べている。
資料リスト	1	書名	信濃の風土と歴史
		著者名	長野県立歴史館
		出版社	長野県立歴史館
		出版年	1999
		内容紹介	「文明開化と長野県」の「長野県が誕生するまで」には、信濃国に初めての県が誕生し、飯島に庁舎を、塩尻、中之条、御影に局をおいて本格的にスタートしたこと、信濃全域にわたる農民一揆により中野県が長野県になったことを述べている。最後に現在の長野県域は明治9年に誕生したことを簡略に述べている。
	2	書名	長野県百科事典
		著者名	信濃毎日新聞社開発局出版部
		出版社	信濃毎日新聞社
		出版年	1974
		内容紹介	「伊那県」、「中野」、「長野県」の項で長野県の誕生について述べている。
	3	書名	県歌・信濃の国
		著者名	市川健夫、小林英一／著
		出版社	銀河書房
		出版年	1984
		内容紹介	中心は県歌・信濃の国の解説であるが長野県の誕生についてもふれている。

## 長野県の誕生

インターネット	1	サイト名	信州地域史料アーカイブ
		URL	<a href="https://adeac.jp/shinshu-chiiki/">https://adeac.jp/shinshu-chiiki/</a>
		概要	機関内検索すると、関連情報を探すことができる。
	2	サイト名	国会図書館サーチ
		URL	<a href="https://iss.ndl.go.jp/">https://iss.ndl.go.jp/</a>
		概要	長野県の誕生に関連する図書、記事論文などを探すことができる
	3	サイト名	信州ブックサーチ
		URL	<a href="https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html">https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html</a>
		概要	長野県の誕生に関連する図書、記事論文などを探すことができる
新聞	1	見出し	響け「信濃の国」「信州の第九」
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊16ページ
		年月日	1999(平成11)年12月8日(水)
	2	見出し	長野県発足、担った人物に焦点 冊子
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊27ページ
		年月日	2021.9.11